

令和8年度(第16期) 事業計画書

(令和7年10月1日～令和8年9月30日)



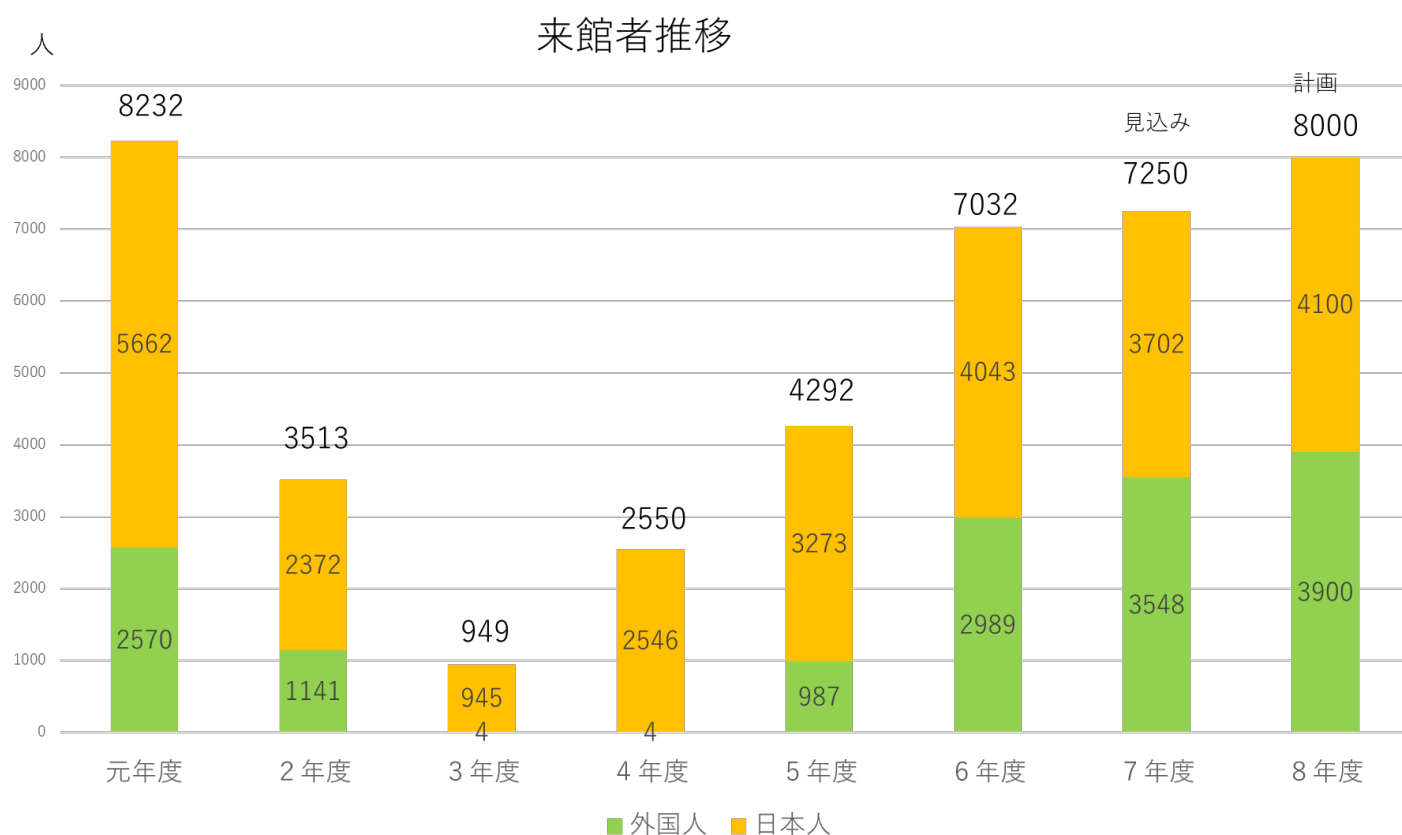
【はじめに】

公益財団法人松下社会科学振興財団は、平成22年9月22日に京都府より財団法人から公益財団法人への移行の認定書を受領し、次年度（令和8年度）は第16期を迎えます。平成6年に松下幸之助生誕100年を記念して開設された「松下資料館」の管理と運営を当財団の活動の主体としております。

【松下資料館 来館者の推移】

令和2年3月に始まった新型コロナウイルスの感染拡大による来館者数減少より転じ、回復傾向にあります。令和7年度の来館者数見通しは7,250人（前年比103% 国内92%、海外119）の見込みです。海外来館者、特に口コミ評判により、中国のお客様が増加。

令和8年度は8千人を計画します（前年比110% 国内111%、海外110%）。



【令和7年度の活動】

令和7年度は、来館者の対応とともに、次のような活動を実施してまいりました。

①お客様対応・インフラ整備

- 音声ガイドの導入（スマホ対応 4か国語） 11月稼働
- 映像ブース音響向上 天井スピーカー工事 11月稼働
- 松下幸之助記念志財団 留学生 勉強会 12月46名
- 映像ブース用映像 2編制作 1月公開
- 図書館ゲートシステム 設備更新 2月稼働
- 教養講座 （第10回） 2月 「松下政経塾にかけた松下幸之助の願い
～その志を受け継ぐ～」

金子将史（まさふみ）氏 政策シンクタンク PHP 総研代表・研究主幹

／(株)PHP研究所 取締役常務執行役員

- 「新入社員 合同学びの会」 4月実施 9社18名
- 「松下むめの 難儀もまた楽し」 中国語吹替え版 制作 4月公開
- 真々庵椅子 展示 6月公開
- 教養講座 （第11回） 8月 「『植治』次期十二代 ～ 次代へと繋げる仕事」
小川勝章（かつあき）氏 御庭植治（おんにわうえじ）(株) 代表取締役
- 庭園シアター「雨が降れば傘をさす」制作 9月公開（予定）

②松下幸之助生誕130年記念事業

- 松下幸之助著作増刷時、松下資料館紹介「しおり」の投げ込み 11月実施

【令和8年度（第16期）事業計画】

令和8年度は、従来の事業活動を着実に実行しつつ、将来に向けた活動、準備を実施してまいります。

< I 経営研究事業 >

多目的な“研究の場”として松下哲学の勉強会や、日本的経営を中心とした研究会、さらには教養講座や講演会などを随時行なっています。



◎教養講座

教養講座とは、豊かで幸せな社会を創るために役立つ考え方・知識・情報等を教養として学ぶ少人数制の公開講座です。

< 教養講座の企画コンセプト >

- ・松下幸之助哲学に学ぶ
- ・京都府管轄の公益財団法人として、京都の産業・文化に学ぶ

●（第12回）令和8年2月予定

講演テーマ：「松下幸之助と本田宗一郎」（仮題）

福原慎太郎氏（株式会社 Droots 執行役員・松下政経塾 第22期生）

●（第13回）令和8年8月予定

講演テーマ：「京都に伝わる古きものの価値」（仮題）

善田喜征氏（株式会社 善田昌運堂 社長）

◎研究会の企画

今日、MBA等の経営学を学ぶ方々が大変増えています。そうした学問としての経営学だけで経営をしてもうまくいくとは限りません。そこに経営哲学や実践に裏付けされた経営に対する考え方がないと生きた経営はできません。

今日の経営状況を踏まえて「生きた経営とはどうあるべきか」といった研究会の企画・検討を進めてまいります。

- ・ 具体的テーマの検討
- ・ 研究者・協力先の選定
- ・ 研究会の進め方の検討
- ・ 研究成果の検討

● 具体的な企画

- ・ 松下幸之助記念志財団 留学生 勉強会

< II 展示事業 >

展示コーナーでは、グラフィックパネルを用いて、松下幸之助の“行き方・考え方”を紹介しております。さらに映像ブースでは、松下幸之助とその教えを受けた人々の映像を日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語で視聴することができます。



◎新しい映像の制作・公開

「松下幸之助 丁稚時代に学んだこと（仮題）」の制作。

- ・ 令和8年8月公開予定 ※日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語対応
- ・ 展示場所：年表コーナー

◎第13回「新入社員 合同学びの会」の実施

中小企業の新社会人に向けて、松下幸之助の仕事観・人生観を学んでいただく会です。

- ・ 令和8年4月に実施予定（定員30名）

◎映像ブースの映像を追加

現在、映像ブースで92点の映像を視聴することができます。

松下幸之助、部下の映像、それぞれ1点を新たに製作し、追加してまいります。

◎展示コーナーの課題ソリューション

●映像ブースのメニュー画面

現在の映像ブースのデータファイル方式では、これ以上の映像作品増加へ対応するファイル増加への容量が不十分であり、また、作品増加の度に、複雑なメニュー更新作業が必要となっている。そこで、操作メニューの設定、変更の柔軟さ、ファイル保存容量の増加対応のためのタッチパネルの変更を行う。

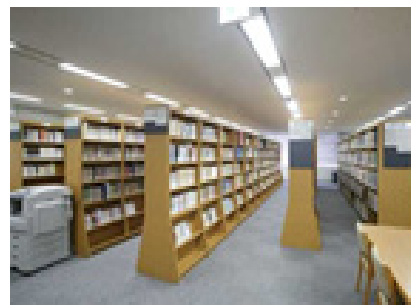
●年表コーナーのディスプレイ（道、松下むめの）のタッチパネル化

●松下幸之助ホログラム設置

●庭園シアター映像スイッチパネルの設備更新

<Ⅲ 経営図書館事業>

経営図書館では、現代経営に役立つ図書館を目標に、その関連資料を収集しております。松下幸之助がこれまでどのようなことを述べてきたかを知りたいとき、日本的経営の源流を知りたいとき、あるいは経営者の経営理念をじっくり研究したいときなど、経営、ビジネスの面から幅広く活用することができます。



◎経営者執筆本・会社社史の充実化

経営者執筆本・会社社史の蔵書といった全国的にも特徴のある図書館として、さらに充実化を図ってまいります。

- ・新規発刊された経営者執筆本・経営経済関係図書の購入
- ・ホームページでの継続的な寄贈の呼びかけ
- ・社史編纂請負会社への寄贈依頼
- ・来館された企業幹部への声かけ

○ 令和7年7月末現在 蔵書数

全蔵書数 22,133冊

(内) 経営者執筆本 2,718冊

会社社史 3,716冊 (2,265団体)

<Ⅳ その他活動>

令和8年度の金融情勢は、令和6年8月、令和7年3月の激変もあり、為替、株価ともに不安定な状況と見ております。

よって、利金収入は、下降局面も踏まえて推定し、その他収入の確保（講話収入等）と効率化によるコスト削減にさらに注力して経営の良化に努めてまいります。